

保育専攻学生による乳児保育実践学習と乳児保育効力感との関連1

—「乳児保育実践カード」と「乳児保育実践学習評価」を作成して—

The Relationship Between Practical Infant Care Implementation Efficacy and Infant Care Illustration Study in College Students Majoring in Childcare Part 1

加藤 房江
(こども学科 准教授)

要旨 保育専攻学生の保育スキルを高める試みとして、乳児保育の具体的な保育行為に沿った授業を行なうことで、乳児保育の効力感が高まるのではないかと考え、乳児保育の実践的な学習と乳児保育効力感¹⁾の関連を明らかにするための研究が必要だと考えた。本研究ではその予備調査として、学生が保育所実習を行った際、乳児に対して困難さを感じた内容について検討した。その検討した対応場面についてカラーのイラスト入りで、手書きにて筆者が作成した38枚の保育場面でのかかわり方の実践カード(以下「乳児保育実践カード」と呼ぶ)を作成した。また、乳児保育実践カードを活用した授業(以下「乳児保育実践学習」と呼ぶ)をより詳細に検討するための効果測定である乳児保育実践学習評価(以下「乳児学習評価」と呼ぶ)として、介入前、介入中、介入後の3パターンの作成を行った。これらは、乳児保育の効力感と学習の関連を明らかにするための前段階の研究である。

【キーワード：キーワード：乳児保育 保育所実習 保育者効力感 学習評価】

I. はじめに

2015年4月から本格施行した「子ども・子育て支援新制度」では、地域の実情に応じた保育等の量的拡充、幼保一元化などの機能強化に力が入られ、幼稚園・保育所・認定こども園の垣根が低くなりつつある。今までのキャリアを維持し、働き続けたい、あるいは働かざるを得ない母親達が増えていく背景に、低年齢から保育所に預けている現状がある。これに伴い乳児保育に対するニーズもますます拡大しており、今まで以上に多岐にわたる専門性の向上が求められている。

保育者養成は、その前段階として、知識や技術の基礎固めを確実にし、保育の専門家としての土台を積み上げる場であるといえる。その課程において、幼稚園実習や保育所実習は、学生達にとって、資格取得を得るために単位を取得する必要があるのと同時に、現場での保育実習を経験することで、将来保育者としての適正があるか見極める場でもある。

三好・石橋(2006)²⁾は、保育実践力を改善するための保育者養成の手がかりとして、初任保育者の担当クラスの現状と子どもの遊びにかかわるときの保育者の問題意識を調査した。担当するクラスでは、初任保育者の担当する保育では、73%が0歳から3歳までの乳児を複数の保育者と

経験している実態をあげている。本学の卒業生の調査でも³⁾1年目は、半数以上が3歳未満児を担当している。このように、新任保育者として担当するクラスは、0～2歳児を担当する割合が比較的高く、乳児に関する指導の充実を図ることが必要である。野中(2008)⁴⁾は、「乳児保育Ⅰ」(1年後期)で基礎を学んだ学生が「乳児保育Ⅱ」にどのような内容を求めているかのアンケート調査を行い、そこに出された学習課題を探った。「学びたいと思ったこと」の第1位は、「乳児のかかわり方・接し方」であり、「授業内容で特に役にたったこと」の第1位は、「言葉の獲得」だったとし、乳児との直接的かかわりにより、悩んだり、困ったりしたことが、学びの中で意欲に繋がっていた。また、具体的事例をあげる事で授業と実習経験とを結びつけて学ぶことが出来て、イメージしやすいことを示唆している。

保育所実習アンケートの分析から、船越(2010)⁵⁾は、モデル人形や、視覚的教材を通して発達、保育の実践と理論を結びつけることが必要であると報告している。乳児保育の授業において、演習による実際の保育をイメージしやすい保育内容や指導の充実・工夫が必要であるといえる。

発達が目覚しく、保育技術が多岐に渡る乳児についての理解が、保育所実習において影響すると

思われ、大学での授業が分かりやすく、子ども理解や具体的援助を実践的に学び、理論と結びつけるような教授方法を工夫する必要がある。しかし、保育所保育指針解説の内容には、学生達が乳児保育に興味をもち、具体的・実践的でイメージしやすく楽しく感じるような保育技術に対しての、記述が少ない。教科書（乳児保育）には、挿絵などはあるものの、理論や技術を活字から学ぶ部分が多く、特に、実習前の学習としては、分かりにくく、実践的とはかけ離れた授業になってしまいがちである。そこで、乳児保育の授業が、ビジュアル的にも分かりやすく興味のある内容として能動的に経験できることで、乳児に対する理解や保育実践力を高めることに繋がると考えられる。このことから、乳児保育の具体的な保育行為に沿った乳児保育実践学習を行なうことで、乳児保育効力感が高まるのではないかと考えた。乳児保育効力感¹⁾とは、保育所実習の終了した学生を調査した内容や保育所保育指針解説・近年本邦で出版されている「乳児保育」の解説書等の内容を反映させた「乳児保育効力感」の50の項目候補を筆者が作成した。乳児保育の具体的な保育行為がうまく出来るかどうかの効力感を問う内容となっている。乳児保育の実践的な学習と上記の乳児保育効力感の関連を明らかにしたいと考えた。

本研究では予備調査として、学生が保育所実習を行った際、乳児に対して困難さを感じた内容を検討し、困難さに対する対応場面のシナリオをイラスト入り「乳児保育実践カード」として作成を行う。

また、乳児保育実践カードを活用した授業をより詳細に検討するための効果測定である乳児保育実践学習の内容に関する課題、乳児学習評価の作成を検討する。

II. 方法

調査対象

A県内のC短期大学2年生47名に依頼し、実施した。また、B県内のD大学の4年生10名にも同じ条件で依頼し、実施した。両大学とも、保育実習を終えた保育専攻学生で、計63名を調査対象とした。

調査時期

平成28年2月上旬に実施した。この時期は、幼稚園実習、施設実習、保育所実習とすべての実習が終了している。実習内容をよく把握し、就職

に向けて今まで学習してきたことを保育の現場にて実践に移していこうとする時期である。

調査手続き

筆者の授業終了後に実施した。事前に倫理的配慮として、「研究の目的」「自由参加であること」「個人が特定されないこと」「個人情報厳守すること」を説明して依頼し、無記名で回答を求めた。他の授業担当者に調査の実施を依頼し、同じ条件での回答を求めた。所要時間は、10分程度であった。回答数は、63名（回収率100%）、有効回答数は、回答に不備のない57名（90.4%）であった。

予備調査の質問紙の構成

以下の4つの項目に対して自由記述で回答を得た。

「保育所実習終了後アンケート調査」

- (1) 保育園実習では、何歳児のクラスで何日間実習を行いましたか。
- (2) 実習の体験や先輩保育者の様子を見て、何歳児の保育やお世話が大変と感じましたか。
(自由記述回答)
- (3) その理由はなんですか。いくつでもお書きください。(例：言葉が通じない乳児への支援の方。保育の内容や遊びの方法。)(自由記述回答)
- (4) 大変さを克服するために、あなたはどんなことをしましたか。また、どのようなことをすればよいと思いますか。(自由記述回答)

III. 結果

A県内のC短期大学2年生47名とB県内のD大学生10名の保育実習を終えた保育専攻学生計63名中、回答に不備のない57名から回答を得た。

質問1「保育園実習では、何歳児のクラスで何日間実習を行いましたか。」に対し、57名中41名が回答した。有効回答の41名の各年齢における実習平均日数を求めた。0歳児平均1.93日間、1歳児2.15日間、2歳児3.95日間、3歳児3.71日間、4歳児2.9日間、5歳児2.9日間だった(Figure 1参照)。

質問2「実習の体験や先輩保育者の様子を見て、何歳児の保育やお世話が大変と感じましたか。」の質問に対し、困難さの年齢を求めた。困難さや課題を感じた年齢は、0～3歳未満児において、143であり、3～5歳児は、31の回答が得られた(複数回答有り)。年齢別では、0歳児52、

1歳児 44, 2歳児 47, 3歳児 21, 4歳児 4, 5歳児 6の困難さがあげられた。保育所実習において、調査の結果から、圧倒的に3歳未満児に困難さや課題を感じていることが分かった。(Figure2参照)

質問3「その理由はなんですか。いくつでもお書きください。」の質問に対し、自由記述での回答を求めた。保育所実習において困難さを感じた内容は、「実習生と子どものコミュニケーションに関するもの」41項目、「子ども同士のかかわりに関するもの」15項目、「おむつ換え・排泄に関するもの」13項目、「遊び・表現に関するもの」10項目、「食事に関するもの」10項目、「安全に関するもの」9項目、「着脱・清潔に関するもの」4項目「睡眠に関するもの」3項目であった (Table1)。

質問4「大変さを克服するために、あなたはどんなことをしましたか。また、どのようなことをすればよいと思いますか。」の質問に対し、自由記

述での回答を求めた。「保育者の対応を真似て、実践する」の項目が20, 「子どもを観察する」の項目が10, 「コミュニケーションを図り、信頼関係をつくる」の項目が8, 「子どもの発達を把握する」の項目が8, 「子どもの気持ちを受け止める」の項目が6, 「歌や手遊びなど音から楽しめるようにする」の項目が4となっており、69項目の回答が得られた(複数回答あり)(Table2)。

調査内容の分析の解釈が妥当であるかを分析者以外の視点から確認するために、臨床心理士1名、保育士の乳幼児の専門家1名の協力を得て、川喜田二郎著によるKJ法に基づき、分類を行った。記述内容の特徴により、「コミュニケーション」「子ども同士のかかわり」「おむつ換え・排泄の援助」「遊び・表現」「食事の援助」「安全に関する対応」「着脱・清潔の援助」「睡眠時の援助」のカテゴリーを生成した。

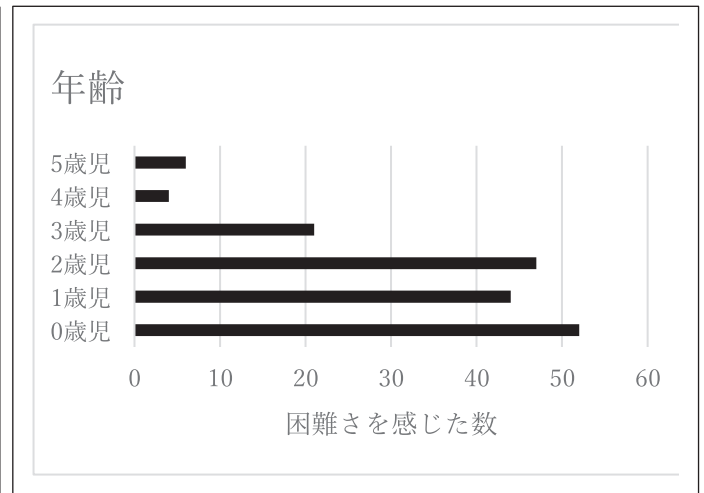
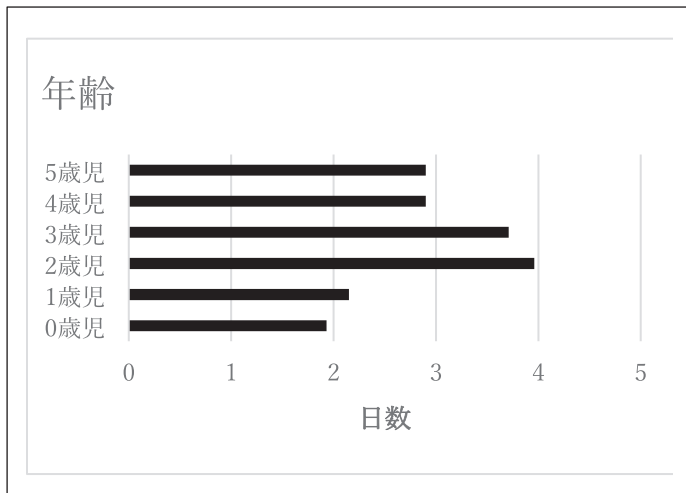


Figure 1 保育園実習を行った年齢のクラスと日数

Figure 2 保育所実習で、困難さや課題を感じた年齢

Table 1 保育所実習において困難さを感じた内容についての自由記述(N=57)

| 項目 | コメント数 |
|-------------------------------|-------|
| ＜実習生と子どものコミュニケーションに関するもの＞ | |
| 言葉が通じず、コミュニケーションの仕方やかかわり方が難しい | 19 |
| イヤイヤ期の対応 | 8 |
| 自我が出てきて、自己主張が強くなる | 3 |
| 何をしたいのか分からない | 3 |
| 言葉が通じない乳児への支援の仕方 | 3 |
| 人見知りをされること | 2 |
| 声がけ・かかわり方 | 2 |
| 保育士の助言が多く必要だった | 1 |

| | |
|--------------------------------|---|
| <子ども同士のかかわりに関するもの> | |
| 子ども同士のトラブル（物とり合い）の対応 | 8 |
| 嘔み癖がある子どもへの対応 | 3 |
| 言葉で話すよりも手が出てしまう子どもへ | 3 |
| 言葉や意思が伝えられない，友達の言動を理解できない | 1 |
| <おむつ換え・排泄に関するもの> | |
| トイレトレーニングの方法 | 8 |
| おむつ交換の方法 | 3 |
| トイレなど少しずつ自分でやることの指導や個人差に合わせた対応 | 1 |
| おむつが取れている子の漏らしの対応 | 1 |
| <遊び・表現に関するもの> | |
| 手遊びや絵本の広げ方 | 4 |
| 歌でのかかわり・指導の仕方 | 4 |
| どのようにすれば，筋力を鍛える保育ができるか | 1 |
| 製作の援助 | 1 |
| <食事に関するもの> | |
| 食事指導の言葉かけや対応 | 6 |
| 食事を残す子の対応 | 2 |
| 授乳やゲップのさせ方 | 2 |
| <安全に関するもの> | |
| 子どもが好きに動き回る | 4 |
| つかまり立ちなど不安定でケガをしやすい | 3 |
| 誤飲や喉につまらせる | 1 |
| 乳児の抱き方 | 1 |
| <着脱・清潔に関するもの> | |
| 発達に合わせた着脱の援助 | 3 |
| 身の回りの清潔に関する躰 | 1 |
| <睡眠に関するもの> | |
| 午睡時の安全確認 | 2 |
| おんぶの仕方 | 1 |

Table 2 保育所実習の困難さを感じた内容の克服方法についての自由記述(N=57)

| 項目 | コメント数 |
|-----------------------|-------|
| 保育者の対応を真似て，実践する | 20 |
| 子どもを観察する | 10 |
| コミュニケーションを図り，信頼関係をつくる | 8 |
| 子どもの発達を把握する | 8 |
| 子どもの気持ちを受け止める | 6 |

| | |
|---------------------|---|
| 歌や手遊びなど音から楽しめるようにする | 4 |
| 子どもへの声がけの工夫 | 3 |
| 積極的対応 | 3 |
| 援助方法を学ぶ | 3 |
| 分からないことは、保育者に確認する | 2 |
| 視野を広くする | 1 |
| トイレに行く習慣づけをする | 1 |
| 目離さない | 1 |
| 絵本を読む | 1 |
| 興味あるもので、集中させる | 1 |
| 子どもから話を聞く | 1 |
| 気持ちを代弁する | 1 |
| 未解決のまま | 1 |

乳児保育実践カードの内容について

乳児保育実践カードの作成においては、今回生成したカテゴリーの内容を反映させた。また、保育所保育指針解説(2008)⁶⁾・近年本邦^{7) 8) 9)}で出版されている「乳児保育」の解説書を参考に作成した。「教育に関わる領域は、保育士等が、子どもの発達をとらえる視点として5つに区分されています。この5領域が意味するものを理解し、子どもの発達の5つの窓口からの確にとらえることが求められます。」と謳われているように¹⁰⁾、子どもの発達はそれぞれの領域が単独で存在するわけではなく、相互作用により、関連して発達していくことを押さえ、総合的に保育していくことが大切である。

また、保育所保育指針解説(2008)¹¹⁾の保育の内容の表現において、「幼い子どもは、母親の胎内で聞いていた「拍」に安心感と親しみをもっているようです。わらべ唄や子守唄の拍が母親の心臓の音と重なり、子どもに安らぎを与えていること・・・保育士の歌うわらべ唄などに合わせて体を揺らし、一緒に歌おうとします。また、手遊び歌などのしぐさをまねたり歌に合わせてリズムをとったりするようになります。さらに、保育士等が歌う楽しく心地良い歌を聞き、自分も同じように表現したい気持ちになり、一緒に歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりすることを楽しんでいきます。保育士等は、子どもの発達過程や興味などに合わせた季節感のある歌や手遊びを提供していくことが望まれます。」としている。

上記のことを踏まえ、保育所実習において困難

さを感じた理由として最も多かった、言葉を発しない乳児とどのようなコミュニケーションをとることが有効なのか、子ども同士のかかわりについての言葉がけや気持ちの代弁、乳児に対しての遊び方、食事や排泄、着脱などの養護に関する保育技術の内容などを、このコミュニケーションをキーワードに言葉がけなども盛り込んだ。とくに学生からの保育所実習において困難さを感じた内容の克服方法についてあげられていた「歌や手遊びなど音から楽しめるようにすること。」は、筆者が保育現場にて長年勤務していた経験からも、有効と感じた内容である。

乳児保育実践カードの内容は、A4サイズで、表面は、保育場面の内容がカラーのイラストにて描き、言葉がけや手順、配慮事項などが記入した。おおむね6か月未満は、7場面、おおむね6か月から1歳3か月未満は10場面、1歳3か月から2歳未満は8場面、おおむね2歳は、13場面である。

裏面は、保育所保育指針解説で示された3歳未満児の4つの発達過程の区分が記されている。4つの発達過程の区分の裏面は、一目で分かるように、おおむね6か月未満は薄ピンク、おおむね6か月から1歳3か月未満はクリーム色、おおむね1歳3か月から2歳未満は水色、おおむね2歳は黄緑色に色分けを行い、38の保育場面の全てにラミネートを施した。

乳児保育実践カードの内容をTable3に示し、38の保育場面のイラストは、資料1に示す。

Table3

乳児保育実践カード内容

| 項目 | わらべ唄・手遊び名等 |
|---------------------|--------------------|
| <おおむね6ヶ月未満児 > | |
| 1 ガラガラであやす | どっちん かっちん |
| 2 おなかが空いて泣いたときの対応 | ミルク |
| 3 おむつが汚れて泣いたときの対応 | |
| 4 ぐずったときの対応・抱き方 | よい子 |
| 5 わらべうた遊び | いちり にり・ぼうず ぼうず |
| 6 あやす | いないいないばあ・じーかいて ぼん |
| 7 こもりうた | ねんねんねやまの |
| <おおむね6ヶ月から1歳3か月未満> | |
| 8 抱っこ・ひざの上立ちでたかいたかい | こまんか |
| 9 ねがえり | いもむし ごろごろ |
| 10 ふれあい遊び | まほうのつえ・うまは としとし |
| 11 おんぶ | こりゃ どのの |
| 12 わらべうた遊び | ここはとうちゃん・どてかぼちゃ |
| 13 ゆすりあそび | このこ どのこ・じごく ごくらく |
| 14 手あそび | だんご だんご |
| 15 手あそびから絵本 絵本の紹介 | おはなし おはなし |
| 16 わらべうた遊び | うえから したから・ももや ももや |
| 17 くすぐりあそび | やまのぼりホイ |
| <おおむね1歳3か月から2歳未満> | |
| 18 食事の援助・はみがき | |
| 19 わらべうたあそび | だるまさん・いっぽんぼし |
| 20 手あそび | コロコロたまご |
| 21 手あそび | ペンギンさんのやまのぼり |
| 22 物のとり合い ぬいぐるみ | |
| 23 安全 | |
| 24 歩行のうながし | あしあしあひる |
| 25 おいかけっこ | |
| <おおむね2歳> | |
| 26 手あそび | ずっとあいこ・パンやさんにおかいもの |
| 27 鼻をかむ | |
| 28 手を洗う | |
| 29 手あそびから絵本 絵本の紹介 | はじまるよ |
| 30 ふれあいあそび | くまさんくまさん・はみだしたチーズ |
| 31 わらべうたあそび | おせんべいやけたかな・おちゃをのみに |
| 32 排泄の援助 | |
| 33 ズボンを脱ぐ・はく・たたむ | |

34 上着を脱ぐ・たたむ・くつ下を脱ぐ・まとめる

35 上着を着る

36 ボタンをはめる

37 物のとり合い バイクのとり合い

38 ルールを覚える 順番に手を洗う

* わらべ唄・手遊び名等の記述のないものに関しては、イラストと説明文で作成。

乳児学習評価の作成

乳児保育の授業において、乳児保育実践カードを活用した授業を行うことで、学生の乳児に対する理解や具体的援助方法の技術が高まっているかを確認することを目的として、乳児学習評価の作成を行った。乳児保育実践カードを活用した授業をより詳細に検討するための効果測定である「乳児学習評価」として、介入前、介入中、介入後の3パターンの作成を行った。(資料2参照)

乳児学習評価の内容は、記述内容の特徴により生成したカテゴリーより、乳児学習評価1では、「コミュニケーションに」に関する設問が3問。「子ども同士のかかわり」に関する設問が6問。「おむつ換え・排泄の援助」に関する設問が2問。「遊び・表現」に関する設問が6問。「食事の援助」に関する設問が5問。「安全に関する対応」に関する設問が5問。「着脱・清潔の援助」に関する設問が11問。「睡眠時の援助」に関する設問2問の合計40問を作成した(資料3参照)。

乳児学習評価2では、「コミュニケーションに」に関する設問が3問。「子ども同士のかかわり」に関する設問が5問。「おむつ換え・排泄の援助」に関する設問が3問。「遊び・表現」に関する設問が7問。「食事の援助」に関する設問が5問。「安全に関する対応」に関する設問が6問。「着脱・清潔の援助」に関する設問が9問。「睡眠時の援助」に関する設問2問の合計40問を作成した(資料4参照)。

乳児学習評価3では、「コミュニケーション」に関する設問が3問。「子ども同士のかかわり」に関する設問が6問。「おむつ換え・排泄の援助」に関する設問が3問。「遊び・表現」に関する設問が6問。「食事の援助」に関する設問が5問。「安全に関する対応」に関する設問が5問。「着脱・清潔の援助」に関する設問が8問。「睡眠時の援助」に関する設問2問の合計40問を作成した。

以上から、乳児保育実践カードの効果策定である乳児学習評価の課題40問を○×形式で回答するものを、3種類作成した。

IV. 考 察

乳児保育実践カード(自作)の作成

予備調査から得られたデータをKJ法に基づいて、分類を行い「コミュニケーション」「子ども同士のかかわり」「おむつ換え・排泄の援助」「遊び・表現」「食事の援助」「安全に関する対応」「着脱・清潔の援助」「睡眠時の援助」のカテゴリーを生成した。乳児保育実践カードの作成においては、今回生成されたカテゴリーの内容や保育所保育指針解説・近年本邦で出版されている「乳児保育」の解説書を参考にした。また、学生からの保育所実習において困難さを感じた内容の克服方法について挙げられていた「歌や手遊びなど音から楽しむようにすること。」は、筆者が保育現場にて長年勤務していた経験からも、有効と感じた内容であり、これらも反映させた内容となっている。以上から、ビジュアル的にも分かり易いカラーのイラスト入り、実践カードを活用してのロールプレイ形式の授業は、モデル経験の効果も期待できるものと予想される。本研究では、作成した38の保育場面での実践カードを「乳児保育実践カード」と定義する。乳児保育実践カードの内容が、乳児保育の保育場面において、保育行動に直結した行為を考慮するもので、保育専攻学生が実習の場において、乳児保育効力感(自作)を高めるものと仮定する。

乳児学習評価(自作)の信頼性の検討

予備調査から得られたデータについてKJ法を行い、分類した8カテゴリーの内容や保育所保育指針解説書等を参考に、40問の質問を○×形式で回答するものであり、1問1点の40点満点である。

乳児学習評価1は介入前、乳児学習評価2は介入中、乳児学習評価3は介入後に実施予定するために3パターン作成し、すべてが同じ評価になるよう努めた。筆者以外の視点から確認するために、臨床心理士1名、保育士の乳幼児の専門家1名の協力を得て検討し、評価の統一性が計られていることから、信頼性を確認した。

V 結論

乳児保育実践カードにおいては、予備調査から得られた、3歳未満児において困難さや課題を感じたカテゴリーの中から、乳児保育の具体的保育場面を、手書きのカラー・イラスト入りで、38場面を作成した。乳児保育の授業において、困難さを感じる38の保育場面において、乳児保育実践カードを手がかりに、学生同士がロールプレイ形式で演じ合いを行い、講義だけでは得られない、乳児に対する様々な保育場面での具体的なかわり方を考え・学ぶことで、乳児に対する理解や具体的援助方法の技術を高めることである。

乳児保育実践カードでは、子ども達に分かりやすく楽しくかわりをもつために、わらべ唄・手遊び・言葉がけを含め、発達過程に沿った実践的でイメージしやすい内容を意識して作成している。具体的保育行為について、ロールプレイを通して、先生役・子ども役を見たり、体験することで、さまざまな保育場面の対応方法を学んでいくと思われる。

学生同士で、ロールプレイ形式で演じ合いを行い、分かりづらい部分や重要な部分は、説明し、強調して伝えることを繰り返し行うことで身に付けていくようにする。乳児保育実践カードの中で、発展的なパターンが予測できる場面や、様々な保育場面でのかわり方を考え、確認しながら活用する。

以上から、乳児保育実践カードを活用した乳児保育実践学習では、学生の乳児に対する理解や保育実践力を高めることに繋がり、実習や保育の現場において、必要な保育行為が上手にできるかどうかという見通しや予測の認知として、乳児保育効力感（自作）に影響すると考えられる。

乳児学習評価では、保育所実習に臨む前の6月の介入前、乳児保育実践カードを使用した乳児保育実践学習の授業を受けてからの8月の介入中、

保育所実習が終了してからの10月の介入後の3回測定を予定している。3回の時期の違いにより、乳児学習評価の得点に差があるか、乳児保育効力感（自作）との関連があるのかを明らかにしていく。

謝辞

聖徳大学大学院の鈴木由美先生には、いつも熱心なご指導とともに温かい励まし、多大なる示唆を頂き、支えていただきましたことを厚く御礼申しあげ、心より感謝いたします。

また、多くの学生、卒業生の皆様に調査に協力していただきましたことを感謝申し上げます。実習事務の林さんにもご協力いただき、ありがとうございました。

最後になりましたが、家族の皆様にも、多大な援助と理解をいただき協力していただきました。特に、娘の文菜さんには、実践カード作成の際や多くの場面において協力していただき、この場をお借りして感謝の気持ちを申しあげたいと思います。ありがとうございました。

引用文献

- 1) 加藤房江. 「乳児保育効力感（自作）尺度の作成」 埼玉純真短期大学紀要, 2018, 11, (pp.15-25).
- 2) 三好年江・石橋由美 『初任保育者の担当クラスと子どもの遊びにかかわるときの問題意識からみた保育士養成校の課題 新見公立短期大学紀要 27, (pp.111-116), 2006.
- 3) 加藤房江. 「乳児保育における模擬保育の試み1」 埼玉純真短期大学紀要, 2016, 9, (pp.33-38).
- 4) 野中千都 「乳児保育Ⅱ」の教授内容に関する一考察～学生によるアンケート調査より～ 西南女学院大学紀要 12, (pp.146-172), 2008.

- 5) 船越利代子 “乳児保育” 授業における課題—
保育所実習アンケート分析から— 筑波国際短
期大学紀要 38, (pp.1-15), 2010.
- 6) 厚生労働省 . 保育所保育指針解説書, フレーベ
ル館, 2008.
- 7) 迫田圭子・天野珠路・岡本美智子・海沼和代・
高野陽・増田まゆみ・山田紀代美・粕谷彩子・
小川真澄 (2014) . 社会福祉法人あすみ福
祉会 茶々保育園グループ (編) 養成校と保
育室をつなぐ理論と実践 新訂 見る・考える・
創りだす 乳児保育 萌文書林
- 8) 川原佐公・古橋紗人子 (2012) . 赤ちゃ
んから学ぶ「乳児保育」の実践力—保育所・家
庭で役立つ— (pp.46-135) 保育出版社
- 9) 松本峰雄 (2016) . 乳児保育演習ブック
(pp.43-227) ミネルヴァ書房
- 10) 厚生労働省 (2008) . 保育所保育指針解説
書 (pp.65-66) フレーベル館
- 11) 厚生労働省 (2008) . 保育所保育指針解説
書 (pp.97-98) フレーベル館

付記

この論文は、聖徳大学大学院の卒業論文を加筆
修正したものである。

資料1

6ヶ月未満児くおながが空いて泣いたときの対応>

くすっている
「あら、OOちゃん どうしたの」

「おむつがぬれているのかな」 おむつを確認するが、ぬれていない。

「そろそろ、ミルク時間だからお腹がすいたのかな」
「OOちゃん ミルクを作るから、待ってね」

手を石鹸でよく洗い、清潔なエプロンをつけ、授乳する。
清潔なガーゼを準備して、ミルクの温度を確かめる。

落ち着いた場所へ、授乳をする。
ガーゼをおこの下に当て、「OOちゃんおまたせ、ミルクですよ」と声をかけ、
唇に乳首が触れ、自分から口を開け吸いつくのを待つ。

乳首の根元まで含ませ、空気が入らないようにする。
目を見つめあって、「おいしいね」など話かけながら
ゆったりと授乳する。
溢が出て、「ジュー」という音やミルクが漏れていないか確認。

*乳首を噛んだり、遊び始めてしまったら、十分飲んだのか確認する

*眠ってしまったら、乳首を引っ張ったり、頬をチョンチョンと触ってみる。

飲み終わったら、紙に包み、赤ちゃんのお腹を自分の胸に
のせるようにして、背中をさすりグッパをさせる。

赤ちゃんを他の保育者に預ける「OOちゃん、OO先生にだっこね」

残ったミルクの残量を確認して、時間ミルクの量を記録する。
(例 11時 10分 120cc)



声をお腹から
乳首が触れ、
自分から口を
開け吸いつく
よびをする。



6ヶ月未満児

<わらべうた遊び>

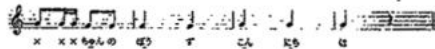
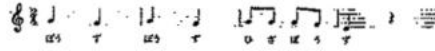
寝ている状態で

「いちり にり」
いちり にり さんり
しりしりしり

*足から・肩から・顔からなど、
場所を替え繰り返し行う



「ぼうず ぼうず」



6ヶ月から

<手あそび>

「だんご だんご」



♪だんご だんご
かいて 左頬に 振る



♪くっつい
片方のほほはアでつかう。



♪た〜
もう片方のほほはクでつかう。



♪あ〜あ〜あ
ほほのほほとあ〜あ
あ〜あ〜あ
と 両頬を交互に振る



♪お〜ん
いっしょに ぱくぱく
唇を動かすと、子ども
達も 楽しく遊ぶ。



♪あ〜あ〜あ
手振りをクク



♪ゆ〜



おへそ
おしり
おっぱい
など

パリエーションを 変えてくっつけて楽しむ。

6ヶ月から

<くすりあそび>

「やまのぼりホイ」



♪やいさんか、やいさんか
やいさんか

♪チヨコチヨコ... やまのぼり
子どもでの上を 親指
と人差し指でしゅく切立
ててくる。



♪ホイ
はちのこぶしで
ポンと 高をたたく。



(2番) ♪ニヨロ ニヨロ... やまのぼり
くねくねしゅく切ら くるくる。



(3番) ♪ドン ドン... やまのぼり
ア〜 たたきながら おはてす

6ヶ月未満児

<ぐずったときの対応・抱き方>

ぐずっている

「あら、OOちゃん どうしたの」

「おむつがぬれているのかな おむつを確認するが、ぬれていない。」

「OOちゃん、あきちゃったかな、抱っこしようね」

赤ちゃんの目を見て、「抱っこするよ」と声をかけて、顔の下に手をいれて抱こす。

片手で顔を包むように支え、もう片方の手を顔から背中、お尻へとすべらせる。

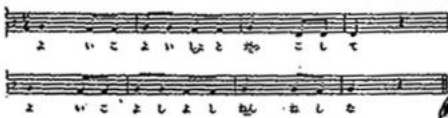
肘の内側に頭を入れ、首と背中を支える。

おしりと足をしっかり支え、縦抱きにし、顔を高くする。
(首が歪んでいる場合)

「アーウー」などの喚語に「アーウー」
「お怒しが上手ね」などと答える。

ベッドに寝かせるときは、お尻からゆっくり降ろす。

「よいこ」



*むかひあって抱っこしてゆずりあそびもできる
歌い終わったら「OOちゃんよいこ」といってあげる



6ヶ月未満児

<ガラガラであやす>

「OOちゃん ガラガラで、あそぼうか」

音を鳴らし、反応を見る。

「OOちゃん いい音だね〜」

「ガラガラ うれしいね たのしいね」

音を鳴らし、笑顔でやりとりを楽しむ。

おもちゃを動かして、追視を促してみる

「どっちん かっちゃん」

どっちん かっちゃん かじやのこ
あわてて につけだす しろやのこ



6ヶ月未満児

<あやす>

「ちゅっば ちゅっば しているひと」
「いいおかお しているね」

いない いない ばー

かくれよ ばー

(手や布を使って)

「じーかいて ぼん」

じーかいて ぼん

*手のひら・足など、いろいろなところでやってみる
「じーかいて」はゆっくりならからに
「ぼん」ははずむように 対照的な動きを意図



6ヶ月未満児<おむつが汚れて泣いたときの対応>

「あら、OOちゃん どうしたの」「おむつがぬれているのかな」
汚れてそうなら、おむつ交換に必要なものを準備。

「OOちゃん おしり きれい きれいにしましょうね」
とちって「おむつ交換台(マットなど) 敷せる。
*交換台に敷せたら、決して寝れない

「OOちゃんの好きな、OOのおもちゃがあったよ かっこいいね」
気に入ったおもちゃを持たせ、おむつ交換を嫌がらないように配慮する。

股を後ろにたくしあげて、当てていたおむつを折り返し
きれいな面を出す。 「わー いっぱいでたね」
*股関節脱臼予防のため、足を強く引っ張らず、
自然の形態に留意しながら、おむつ交換をする。
*便や尿の状態を観察、感染症が疑われる場合は
手袋を使用し、汚物は別に処理。

汚れをやさしく手早く拭き、汚れたおむつを外して汚物入れに入れる。
「きれいにしようね」
拭き残しがないか、肌の様子 などを確認する。 「サッパリしてよかったね」

おむつをセットする。

優しくぬれたいながら、おしりを乾かす
「くまさん くまさん」「ぼうず ぼうず」など、好きなうた

おしりが乾いたら、おしりの下に手をいれておむつを当てる。
*男の子は股を厚く、女の子は後ろを厚く
お尻のところに指が2本はいるか、おむつがはみ出していないか、
キャプチャーを立ててあるか確認する。

股を替え、他の保育者に託す。 「OOちゃん きれいになってサッパリしましたよ」

おむつ交換台やエプロンがよこれていないか確認し、手を清潔にする。
記録をつける (例 時間: 12時15分、状態: やや軟便、量: 普通、肌の状態: 良好)
情報を共有する。



6ヶ月から1歳3か月未満 <ねがえり>

「いもむし ごろごろ」



*体の脇に手を添えて、ゆらしたり、ひざの上や転がるものでやってみせる)

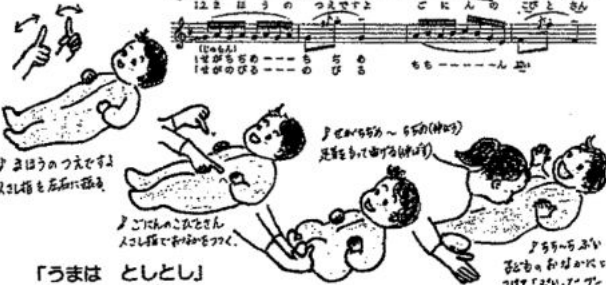


ねがえりのうまかし

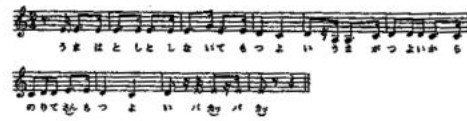


6ヶ月から1歳3か月未満 <ふれあい遊び>

「まほうのつえ」



「うまは としとし」



*おしまいの「はかつ」で、保育者の足をひろげそこに子どもがおちるようなイメージひざの上やおんぶでもできる



3か月から2歳未満 <こもりうた>

「ねんねん ねやまの」



暑かて落ちついた環境・採光・湿度・温度管理をしましょう。



おさくら また あやぶうね

SIDSのチェックとして、睡眠時は定期的に呼吸・脈、顔色などを確認します。

窒息の原因となる、ぬいぐるみやタオルなど顔にかかるとは重ならないようにしましょう。

寝る前に、おむつ換えをしたり、トイレに行くようにします。その子に合わせた入眠の癖や方法に合わせて、おだやかに寝れるようにしましょう。



ゆりかごのうた
「ねんねんころりよ」

6ヶ月から1歳3か月未満 <おんぶ>



子どものお尻を隠して「おんぶ(おんぶ)の音」を聞かせ、おんぶのふもとに膝をしきを入れる。

抱っこ保育者におんぶのふもとを隠しておんぶの音を聞かせる。



おんぶのふもとを隠す。

首かしがしきっているが、手や足が出ていないか、顔がしっかりと見えているかを確認する。

上下左右ゆすて赤ちゃんが寝るまで揺らす。

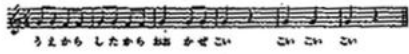
「こりや どのこ」



どろどろおんぶのふもとを隠す。

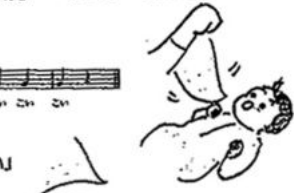
6ヶ月から1歳3か月未満 <わらべうた遊び>

「うえから したから」

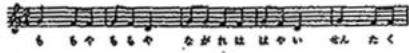


うえから したから おお かぞこい こい こい こい

- *自分の手でとれたら…「とったねすごい」
- *寝ている状態：子どもと1対1
数名の子ともでもできる
- 布をつかって顔の前でユラユラ



「ももや ももや」



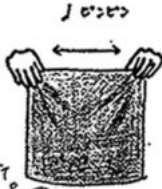
ももやももや ながればはやい せんたく



すれば まもつがぬれるあつこい し

- *ボールなどを転がしながら・ハンカチで洗濯の真似

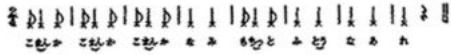
ももやももや ~ さしのおもちゃ
リズムに「ぬる」ふあふと「ピンポン」とハンカチを振り



6ヶ月から1歳3か月未満

<抱っこから ひざの上立って たかい たかい>

「こまんか」



こまんか こまんか こまんか なな ももや ももや なな

- *「もちっと むうとなれ」とうたったら、「おや、おやおや」といいながら、だんだん手を広げて大きくなっていきます
- ひざの上で立てば、そのままうたうごとに大きくなっていく
- *最後にたかい、たかいをしてあげます
- 子ども達は大きくなるのが大好き!

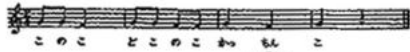


6ヶ月から

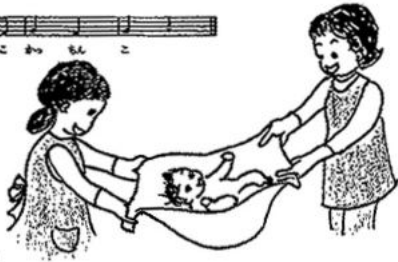
<ゆすりあそび>

- *シーツやバスタオルを使って

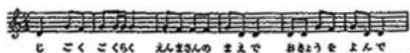
「このこ このこ」



このこ このこ こか ちん こ



「じごく ごらく」



じ ごく ごらく えんまんの ままで おあやを よんで (はりのやまへ こんで?)



- *抱っこして、ゆする
- 2 前後には、慣れてきたら、子どもの脇に手を入れたり、2人で両手・両足をもってゆすってもよい

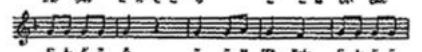
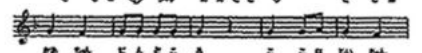
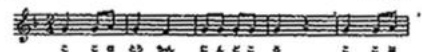
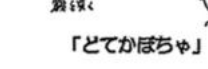


6ヶ月から

「ここは どうちゃん」

にんごろう=にたごろう

わらべうた



「どてかぼちゃ」



おんごろうの どてかぼちゃ

- *はじめは大人が座ってゆらしてゆる
- 慣れてきたら 立って足を交互に上げる
- *抱っこでユラユラ ひざのうえでユラユラ



1歳3か月から2歳未満 <手あそび>

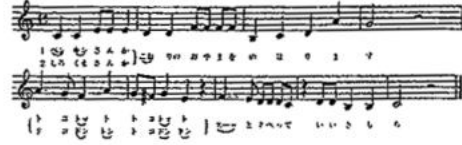
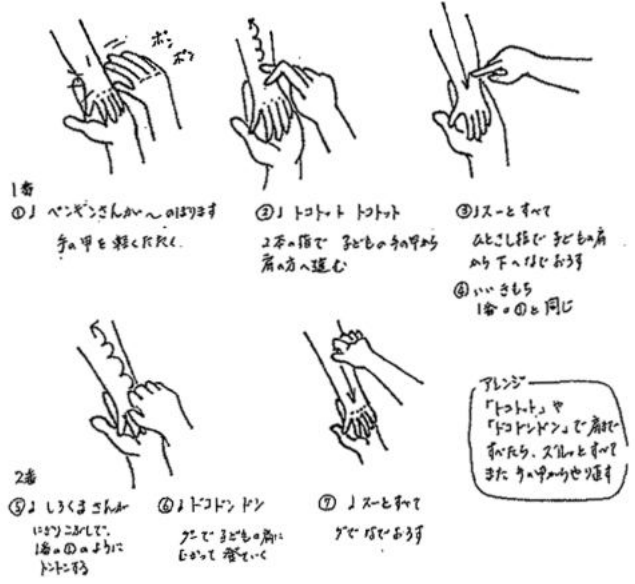
「コロコロたまご」




① コロコロたまごは
② おりこうさん
③ コロコロしてたら
④と同じ。
2番
⑤ ビヨビヨたまごは
1番④と同じ
⑥ おりこうさん
1番④と同じ
⑦ ビヨビヨしてたら
1番④と同じ。
⑧ コケコケ 1番④と同じ
⑨ ビヨビヨ 1番④と同じ
⑩ コケコケ 2番④と同じ
コケコケビヨビヨ

1歳3か月から2歳未満 <手あそび>

「ペンギンさんのやまのぼり」

1番
① ペンギンさんかゝのぼり
手あしを軽くたたく。
② トコトコトコ
2番①の手で、子あしの手あし
肩あしへ進む。
③ スーとすて
あしを軽く、子あし
あしへ下へはたき出す。
④ いさし
1番④と同じ。
2番
⑤ しごくさん
いさしを、
1番④のあしに
トコトコ。
⑥ トコトコ
かたで、子あしを
いさして、
⑦ スーとすて
かたで、あしを

「ペンギン」
「トコトコ」や
「トコトコ」で肩あし
をかたき、又あしを
かたき、あしを
かたき、あしを

1歳3か月から2歳未満 <物のとり合い>

Aちゃんが、ぬいぐるみで遊んでいる



OくんがAちゃんの遊んでいる様子を見ている

急にOくんがAちゃんのおそんでいたぬいぐるみをとる



Aちゃんが泣き出す「エーン とっちゃんた」

「Aちゃんどうしたの？ ぬいぐるみで遊んでたのに とられちゃったのね」

「Oくんも ぼしかったんだよね」Oくんの気持ちを受けとめる

「でも、Aちゃんが遊んでたんだよね」「どうしようか Aちゃん 泣いちゃったね」と、友達のおもいに気づかせる

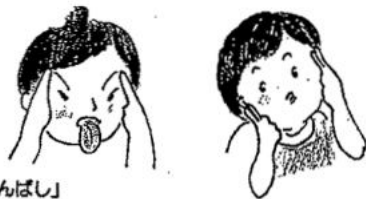
「Aちゃんに『ごめんね』 しょうか」

* 「同じのがあったかな」とおもちゃをだして、一緒にあそぶ
* 同じものがない場合は、違うものであそびに誘ったり、1つのもので、保育者と一緒に遊ぶなど、状況に応じて対応する



1歳3か月から2歳未満 <わらべうたあそび>

「だるまさん」



「いっほんばし」




1歳3か月から2歳未満 <食事の援助・はみがき>



1歳3か月から2歳未満 <おいかけっこ>

広い場所などで、反対側にもう一人の保育者が待っている。
 「〇〇せんせいのところまで、かけっこしてみようか」
 「ヨーイ ドン」のかけ声で、はしてね
 「ヨーイ ドン」
 *保育者もいっしょに走ったり、ときには待っていて、反対側に着いたら逆に「ヨーイ ドン」のかけ声で帰ってくる
 何回かやると良い運動になり、午後もタップリ...



1歳3か月から2歳未満 <安全>

噛みつき

- ・上手く言葉で伝えられないと、噛みつきにより自分の思いを表現することがあります。
- ・物のとり合いしたり、接近して遊んでいるうちに、混み合っつつかたりすると、噛みつき場合があります。
- ・ひんぱんに噛みつきがある場合は、保育者が側にいたり、間に入ったりして、防ぐようにしましょう。心理的に不安定な場合もあるので、特にたくさんかわるようしましょう。
- ・噛んでしまったら、流水でバイ菌を流しましょう。タオルを当て、冷やします。(冷えピタは有効ではありません。)



食事について

- ・ゼリー・チーズ・ミニトマト・白玉だんごなど、喉につかえそうものは、小さくするなど工夫しましょう。

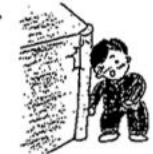


保育室で

- ・直径が32mm以下の大きさの物やおもちゃはのどに詰まる危険があるので、保育室には置かないようにします。また、破損したおもちゃもすぐに取り除きましょう。



- ・保育室の家具など、角があり、ぶつかると危険がある場合は、クッションシートなどで被いましょう。コンセントに指を入れる場合があるので、目を離さないよう十分気をつけましょう。



1歳3か月から2歳未満 <歩行のうながし>

「あし あし あひる」

あし あし あひる
 かかとを ねらえ
 (保育者の足の上にこどもの足を乗せて歩く)



2歳 <排泄の援助>



はじめはズボンパンツを脱いでトイレに行きまわしに上になるとズボンやパンツを下げるまでできるようになります。このとき、ズボンやパンツにインコがつくように声をかけてあげてください。

男の子は、立ってオシッコをするとき、オチンチンがくっついていいる場合があるので、排泄の軌道に引っ張るよう声をかけて、衣服を上げながら、後ろから支えます。



女の子も上になるとパンツを下げるまでオシッコができるようになります。



みぞの上で読む

- ・自分でトイトイターバーを切るときは適当な長さに切り、準備はよくおまよ。
- ・女の子は排泄のとき前か後ろに拭くように教えてい。
- ・男の子も3歳まで排泄のあと拭くのは難しいので拭いてあげましょう。

2歳 <鼻をかむ>



- ・ティッシュを2つ折りしてやってあげる
- ・耳が痛くならないよう指先で押さえるかみ方を教えていましょう。

- ・子どもの様子に合わせて手の浴衣や鼻の押さえ方を教えてあげよう

2歳 <上着を脱ぐ・たたむ>

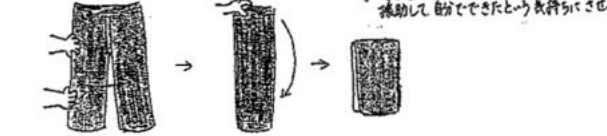
子どもが着脱に関心を示したら、「自分で」という気持ちを大切にしながら、やらせましょう。上手くできなくても、励みをかけて見守り、できない部分を手伝いましょう。



<<つ下を脱ぐ・まとめる>>



2歳 <ズボンやスポンを脱ぐ・はく・たたむ>



※子どもの視界に入らない後方で補助し、自分でできたという気持ちにさせる。

2歳 <物のとり合い>

Tくんが、バイクに乗って遊んでいる

YくんがTくんの遊んでいる様子を見ている

しばらく乗っている様子を見ていたが
Tくんは、バイクがお気に入りの様子

YくんはTくんが乗っているバイクを取ろうとしてケンカになる
そして、TくんはYくんの頭をたたいてしまう

Yくんが立ち出す「エーン ぶった」

「Tくんどうしたの？ バイクで楽しそうに遊んでたけど、
Yくんととり合いになっちゃったね」

「Yくんも ずっと持っていて、乗りたかったんだよね」
Yくんの気持ちを受けとめる

「でも、Tくん Yくんが ぶいちゃったね 痛かったんだね」と、
友達の間持ちに気づかせる

「Yくんに『ごめんね』 しようか」

「Tくんかしてくれるかな 指りたいときって 何て言うんだっけ？
「そうだね 『かして』 っていうみようか」
「Yくんは Tくんが乗っている間ずっと待ってたんだって、乗りたかったんだよね」
「Tくんは、お礼だから、かせるかな」

*どうしてもかしてくれない場合、遊ぶあそびに替って、保育者も一緒に楽しそうにあそんでみる。Tくんもかしてくれたり、保育者と遊びだげることがある



2歳 <ルールを覚える>

「おやつなので、手を洗いましょう」

子どもたちは、順番に並んで並び。

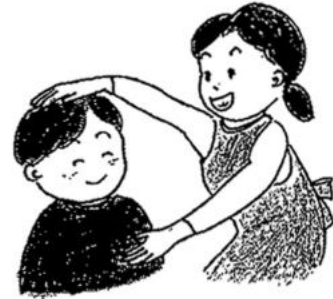
Jくんが横から、入ろうとする

「Jくん抜かしちゃダメだよ」と友達に言われる

「Jくん、お友達が待っているから、順番に並ぼうね」

「Jくん 順番に並べるよね」

Jくんが並べたら、「Jくん ちゃんと約束が守れたね。ありがとうだね」



2歳 <上着を着る>

1 上着の背中を上にする



2 上着の下側から頭を入れる。



3 顔を出す



4 手足を袖口から出す



「お手をグーにして
トナシさもから
出せるかな」



2歳 <ボタンをはめる>

「おいで
おすわりしよう」



「すわって見せることで自分でも
やっている気持ちになれる」



「手とかよく見える下からはめていく」

「ボタンさんトナシか
あつたかな？」



「ボタンさんかおを
だしたよ。こんなには
できるかな？」

「こんなには
できなわ」



・ボタンは大きめで平たく、
ボタンホールも大きめでボタンが
通りやすいものにしよう

・自分でやろうとする気持ちも
大切に。時間がかかっても
さりげなく手伝ったり、見守る
ことが大切！

6ヶ月から

<手あそびから絵本>

*ひざの上で抱っこして 踊んだり、数名なら椅子や壁に背中をつけて「おかバ ペッタンで鬼ようね」と声をかけ 安定した体勢で遊ぶ。

「おはなし おはなし」



「今日の絵本は何かな…」
「タイトル おいしいおはなしかな」
「タイトル どうぶつさんがたくさんでてくるかな」



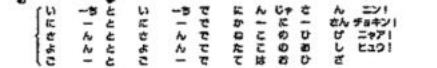
*ゆっくり はっきり読む
「りんご」「いちご」など、「どうぞ」といって、モグモグ食べるまねをして楽しむ
動物などは鳴きまねごっこをしても楽しい

| 年齢 | 絵本 | 作者 | 出版社 |
|----|-------------|---------|------|
| 0歳 | いはいはいはな | 新谷みよ子 | 福音社 |
| | おうちのお | 新谷みよ子 | 福音社 |
| | いはいはなはあそび | 新谷みよ子 | 福音社 |
| 1歳 | こいさつあそび | 新谷みよ子 | 福音社 |
| | ナンタン おしっこしー | キヨノサチコ | 福音社 |
| 2歳 | だまごのえほん | いしかわこうじ | 福音社 |
| | くだもの | 平山和子 | 福音社 |
| 3歳 | ぬいこだれだ | せなけいこ | 福音社 |
| | くっくつあそび | 林 晴子 | 福音社 |
| 4歳 | どうぶつのおやこ | 藤田正幸 | 福音社 |
| | ごまちゃんシリーズ | むかひあけみ | こくさ社 |
| | ジヨコちゃんシリーズ | 中川ひろたか | 福音社 |

2歳 <手あそびから絵本>

作詞・作曲=不明

「はじまるよ」



*絵本や紙芝居の前にやると、「これから何のはじまるんだろう」と興味津々です。おはなしに合った手遊びでもよいです。例えば、「キャバツの中から」の手遊びから、「はらぺこあおむし」の絵本。「てんくのはな」の手遊びから、「ぞうくんのさんぽ」の絵本。「さかながはなで」の手遊びから、「きんぎょがにけた」の絵本。「わにの家族」の手遊びから、「わにわにの絵本」の読み聞かせ。普段から、いろいろな手遊びから、絵本・制作の導入などを覚えておきましょう。

| 年齢 | 絵本 | 作者 | 出版社 |
|----|----------------|----------|-----|
| 1歳 | はらぺこあおむし | エリックカール | 福音社 |
| | いよいよやだ | せなけいこ | 福音社 |
| | ぞうくんのさんぽ | なかのひろたか | 福音社 |
| | まっくらネリノ | ヘルガ=ガルラー | 福音社 |
| 2歳 | ぶらんこのせて | キヨノサチコ | 福音社 |
| | きんぎょがにけた | 五味 太郎 | 福音社 |
| | あおむしかな | A・トルストイ | 福音社 |
| | はけものつがい | せなけいこ | 福音社 |
| 3歳 | だるまさんが | かがいひろし | 福音社 |
| | わにわにの絵本 | 小島さち | 福音社 |
| | ぞうくんのあむりさんぽ | なかのひろたか | 福音社 |
| | まじまじのやぎのがらがらどん | ノルウェーの童話 | 福音社 |

2歳 <手を洗う>

腕をまくる くり返しや
リズムカルな音楽をくり返して
楽しく覚えるようにする。

こもあまから
じょうずにお水
がたせせるから

水をぬらしたら 止める

きょろきょろ
お水止まったかな

しっかりと水が止まった
か 意識をわたせる。

ゴソゴソ
あわあわ

石けんをつける

ゴソゴソ
ゴソゴソ

おててをババ。

水を切る

スリスリ
ご、ごり

いはいはい

ご、ごり
したわい
ごんごにはい
かな!

2歳 <手あそび>

「ずっと あいこ」

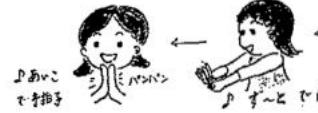
作詞・作曲 阿部直美



1. ずっと あいこ
2. ずっと あいこ
3. ずっと あいこ
4. ずっと あいこ
5. ずっと あいこ
6. ずっと あいこ

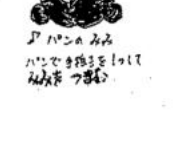
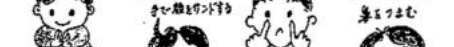
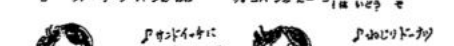
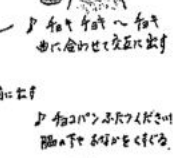
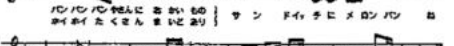
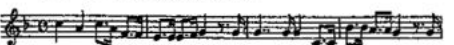


(1) ずっと あいこ
(2) ずっと あいこ
(3) パー パー パー パー



「パンやさんにおかいもの」

作詞 金子 節子
作曲 高木たつゆき

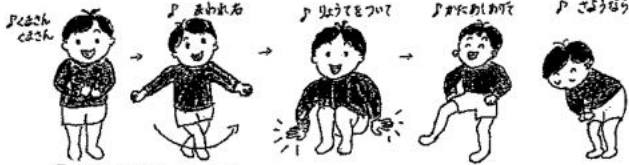


2歳 <ふれあいあそび>

「くまさん くまさん」



♪ くまさんくまさん
手て手拍子。
♪ ↓



「はみだした チーズ」



1. パンがチーズがはみだした
3. あらへんチーズがはみだした



2歳 <わらべうたあそび>

「おせんべい やけたかな」



小さいの輪になつて手のひらを
下に向けて おせんべいをつくる。



♪ おせんべいやけたかな。
「は」にあいたちの舌を
くちとくちと通す。

煙けたおせんべい

煙けたおせんべい

こんどお尻に両手が
はつきり通るとでさあがり
むし むしや

「おちやを のみに」



1. おちやをのみにきてくだい

2. さい はいこにちは



「さい」と止まって
「こにちは」でぶじさがる

3. いろいろなおちやが
なりました
2と同じ

資料2

乳児保育実践学習の確認1

氏名の頭文字と学籍番号の下3けたを下記の例にならって記入してください。

(例) 加藤花子 150102

例にならって記入してください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| か | は | 1 | 0 | 2 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

氏名の頭文字と学籍番号の下3けたを下記の例にならって記入してください。

下の文章を読み、合っているものには、○、そうでないものには、×を()の中に記入しましょう。

- () 1. 鼻をかむときは、しっかりかめるよう、両側から同時に鼻を出すよう教えていく。
- () 2. ミルクを飲むとき、自分で乳首を口に入れられないので、すばやく乳首を口に入れてあげる必要がある。
- () 3. 手洗いのとき、腕をまくったり、洗ったり、流したりする動作は繰り返しの言葉で楽しく覚えることが望ましい。
- () 4. 「はらべこあおむし」「ぶらんこにせて」は、2歳からの絵本として適切である。
- () 5. 6ヶ月未満児は、まだ静かに眠っていることが多いので、声をかけたり、あやしんだりしなくても大丈夫である。
- () 6. ボタンは大きくて丸みがあり、ボタンホールも大きい方が留めやすい。
- () 7. 2歳になると所有の意識がはっきりしてくるので、物のとり合いによるトラブルが増える。
- () 8. 噛みつきが起ってしまったら、すばやく流水で噛まれた患部を洗い、冷やすことであるが、このとき“冷ピタ”が有効である。
- () 9. 寝返りのうながしは、体をゆすったり、寝返りしやすい方の反対側のお尻を支えて、返したり、おもちゃを使ってうながすのも有効である。
- () 10. 上着を着るときは、先に袖を通してから着る方が、簡単である。
- () 11. 園内はわりと安全であるが、安全点検は、年に2回程度する必要がある。
- () 12. 10ヶ月くらいになると自分のものが分かり、物のとり合いが多くなる。
- () 13. 手づかみ食は自分で食べたいという意欲を育て、食べるのが上手になっていくので、持ちやすい形で提供したり、言葉をかけながら援助していくことが大切である。
- () 14. おおむね2歳の絵本の読み聞かせは、“おはなし おはなし”の手遊びをしてから「たまごのえほん」「いないいないはあそび」が適している。
- () 15. ゼリー・チーズ・ミニトマト・白玉だんごなどは食べやすいので、そのまま提供しても大丈夫である。
- () 16. 2歳前後のハミガキの後、口をゆすげないときは、白湯をのませるとよい。
- () 17. 噛み付きの原因として、もののとり合いやくっつきすぎて遊んだり、言葉で思うように伝えられない場合におこることがある。
- () 18. 首の座っていない赤ちゃんは、肩からしっかり支え、もう片方の手を背中からお尻へと滑らせ支える。
- () 19. 2歳では、まだルールが理解できないので、3歳くらいから教えていくほうが望ましい。
- () 20. 身に付ける清潔は、自然と身につくものではないので、発達に合わせて繰り返し伝えていくことが大切である。
- () 21. 6ヶ月から1歳未満児の手遊び・くすぐり遊びでは「だんごだんご」「やまのぼりハイ」などが適している。
- () 22. 3歳未満児の排泄の援助では、男女とも排便の後には、仕上げに拭いてあげるほうがよい。
- () 23. スポンは、履くより脱ぐ方が簡単である。
- () 24. パンツやスポンは、親指をかけて脱ぐように声をかけ、様子をみて大変そうなら、そっと後ろから下ろす。
- () 25. 眠る時は、安心できるように、ベッドの周りにお気に入りのぬいぐるみやタオルを入れるとよい。
- () 26. ボタンは真ん中から留めると、見やすく体の中心なので、簡単である。
- () 27. 物のとり合いでトラブルになったときは、泣いている子の話をよく聞き、嫌だった気持ちを丁寧に伝えることが大切である。
- () 28. 衣服の着脱は、時間がかかっても自分がやろうとする気持ちを大切に、さりげなく手伝ったり、励ましたりして、見守ることが大切である。
- () 29. 直径が32mm以下の大きさの物やおもちゃはのどに詰まる危険がある。
- () 30. 着脱の援助は、子どもの視界に入らない後側や横側で行い、自分で出来たという気持ちにさせる。
- () 31. 物のとり合いなどのトラブルのとき、言葉で自分の気持ちが言えるように仲立ちをすることが大切であるが、それでも貸せないときは、他の遊びに誘ったり、おもちゃの数を増やすなど環境面を見直すことも有効である。
- () 32. おむつ交換の準備は、おむつ・おむつかバー・おしりふき・玩具である。
- () 33. 「きんぎょがにげた」「わにわにの絵本」は、2歳からの絵本として適切である。
- () 34. 2歳からの読み聞かせ前の手遊びは、“はじまるよ”を歌ったり、絵本に関連する手遊びをするのが望ましい。
- () 35. 「おおきなかぶ」や「まっくらネリノ」は、2歳から読み聞かせる絵本に適している。
- () 36. 手洗いは、蛇口を見なくても、水が出ている感覚が分かればよい。
- () 37. あかちゃんがおもちゃなどを目で追うことを対象の持続性という。
- () 38. 2歳前後のハミガキでは、まだよく磨けないので、自分でやらせずに磨いてあげるほうがよい。
- () 39. おんぶをするときは、手足がしっかり出ているか、脇がしっかり支えてあるか、体にフィットしているか確認する必要がある。
- () 40. 食事のとき姿勢は、胸の位置がスプーンなどを使いやすい高さの位置が最も大切である。

乳児保育実践学習の確認2

氏名の頭文字と学籍番号の下3けたを下記の例にならって記入してください。

(例) 加藤花子 150102

例にならって記入してください。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| か | は | 1 | 0 | 2 |
|---|---|---|---|---|

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

下の文章を読み、合っているものには○、そうでないものには、×を()の中に記入しましょう。

- () 1. 食事のときは、足が床や台の足置きに、しっかり付いていることが大切である。
- () 2. 赤ちゃんは、笑顔であやしてもらうことが好きである。
- () 3. 「きんぎょがにげた」「わにわにの絵本」は、2歳からの絵本として、適切である。
- () 4. ゼリー・チーズ・ミニトマト・白玉だんごなどは食べやすいので、そのまま提供しても大丈夫である。
- () 5. 赤ちゃんを寝かせる時は、体をしっかり支え、頭からゆっくりおろす。
- () 6. 物のとり合いなどのトラブルのとき、言葉で自分の気持ちが言えるように仲立ちをすることが大切であるが、それでも貸せないときは、他の遊びに誘ったり、おもちゃの数を増やすなど環境面を見直すことも有効である。
- () 7. 睡眠中は仰向けにして、定期的に呼吸や脈、顔色を観察する必要がある。
- () 8. おんぶをするときは、他の保育者に手伝ってもらい、手足がしっかり出ているか、脇がしっかりと支えてあるか、体にフィットしているか確認する必要がある。
- () 9. パンツやズボン、親指をかけて脱ぐように声をかけ、様子をみて大変そうなら、そっと後ろから下ろす。
- () 10. ボタンは下から留めると、手元が見えてはめやすい。
- () 11. 10ヶ月くらいになると自分のものが分かり、物のとり合いが多くなる。
- () 12. ハミガキの後は、まだ口がゆすげない場合、白湯をのませるとよい。
- () 13. 物のとり合いでトラブルになったときは、泣いている子の話をよく聞き、嫌だった気持ちを丁寧に伝えることが大切である。
- () 14. おおむね2歳からの読み聞かせ前の手遊びは、“はじまるよ”を歌ったり、絵本に関連する手遊びをするより興味が持てる。
- () 15. 直径が32mm以下の大きさの物やおもちゃが保育室にあっても大丈夫。
- () 16. 園内はわりと安全であるが、安全点検は、年に2回程度する必要がある。
- () 17. ボタンは大きくて丸みがあり、ボタンホールも大きい方が留めやすい。
- () 18. 女の子は排便のとき前から後ろに拭くよう、教えるようにする。
- () 19. 「いやだいやだ」「ぞうくんのさんぽ」は、おおむね2歳の絵本として、適している。
- () 20. 6ヶ月からの絵本の読み聞かせは、ひざの上で抱っこして、ゆっくり、はっきり表情ゆたかに読むとよい。
- () 21. 鼻をかむときは、しっかりかめるよう、両側から同時に鼻を出すよう教えていく。
- () 22. 身に付ける清潔は、自然と身につくものなので、発達に合わせて繰り返し伝えていなくても大丈夫である。
- () 23. あかちゃんがおもちゃなどを目で追うことを追視という。
- () 24. 2歳児のふれあい遊び・わらべうた遊びでは「くまさん くまさん」「おせんべやけたかな」などが適している。
- () 25. 噛みつきの対策として、特に噛みやすい子をよく見守り、子どもとの間に保育者が入ることは有効である。
- () 26. 排便の後は、3歳未満児でもまだ難しいので、仕上げに拭いてあげるほうがよい。
- () 27. スポンは、脱ぐより履く方が簡単である。
- () 28. おむつ交換は、男の子は前を厚く、女の子は後ろを厚くして当て、おへそがかくれるようにする。
- () 29. 着脱の援助は、子どもの視界に入る前側で行い、言葉をかけながら手伝っていく。
- () 30. 上着を着るときは袖を通してから着る方が、簡単である。
- () 31. 6ヶ月未満児は、まだ静かに眠っていることが多いので、声をかけたり、あやしったりしなくても大丈夫である。
- () 32. 2歳になると所有の意識がはっきりしてくるので、物のとり合いによるトラブルが増える。
- () 33. 2歳では、まだルールが理解できないので、3歳くらいから教えていくほうが望ましい。
- () 34. 手づかみ食は、自分で食べたいという意欲を育て、これをする事により、食べるのが上手になっていくので、持ち易い形で提供したり、言葉をかけながら援助していくことが大切である。
- () 35. 「はらべこおおむし」「三匹のやぎのがらがらどん」は、2歳からの絵本として適している。
- () 36. 「おおきなかぶ」や「まっくらネリノ」は2歳から読み聞かせる絵本に適している。
- () 37. 手洗いのとき、腕をまくったり、洗ったり、流したりする動作は繰り返しの言葉で楽しく覚えることが望ましい。
- () 38. 寝返りのうながしは、体をゆすったり、寝返りしやすい方のお尻を支えて体を返すが、おもちゃを使って促すのは有効ではない。
- () 39. 2歳前後のハミガキでは、まだよく磨けないが、きちんと座らせて自分で磨かせ、仕上げに磨いてあげるほうがよい。
- () 40. ミルクを飲んだ後、首の座っていない赤ちゃんは、縦抱きにできないので、ゲップをさせなくても横向きに寝かせれば大丈夫である。

乳児保育実践学習の確認3

氏名の頭文字と学籍番号の下3けたを下記の例にならって記入してください。

(例) 加藤花子 150102

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| か | は | 1 | 0 | 2 |
|---|---|---|---|---|

例にならって記入してください。

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

下の文章を読み、合っているものには○、そうでないものには、×を（ ）の中に記入しましょう。

- () 1. パンツやズボンは、お尻の方を持って脱ぐように声をかけ、様子を見て大変そうなら、そっと後ろから下ろす。
- () 2. おむつ交換のとき、皮膚の状態・便や尿の状態を観察し、変わったことがあれば、情報を共有する。
- () 3. ゼリー・チーズ・ミニトマト・白玉だんごなどは食べやすいので、そのまま提供しても大丈夫である。
- () 4. 寝返りのうながしは、体をゆすったり、寝返りしやすい方の反対側のお尻を支えて、返したり、おもちゃを使ってうながすのも有効である。
- () 5. ボタンは真ん中から留めると、見やすく中心なので、簡単である。
- () 6. 6ヶ月未満児は、まだ静かに眠っていることが多いので、声をかけたり、あやしんだりしなくても大丈夫である。
- () 7. 睡眠中はうつぶせ寝にして、定期的に呼吸や脈、顔色を観察する必要がある。
- () 8. 2歳前後のハミガキはまだよく磨けないが、きちんと座らせて自分でやらせて、仕上げ磨きしてあげるほうがよい。
- () 9. 10ヶ月くらいになると自分のものが分かり、物のとり合いが多くなる。
- () 10. 園内の安全点検は、毎月1回程度行うことが好ましい。
- () 11. 物のとり合いなどでトラブルになったときは、泣いている子の話をよく聞き、嫌だった気持ちを丁寧に伝えることが大切である。
- () 12. 物のとり合いなどのトラブルのとき、手がでてしまったら、お互いの気持ちをよく聞き相手の気持ちが伝わるように声をかけたり、言葉で自分の気持ちが言えるように仲立ちをすることが大切である。
- () 13. 直径が32mm以下の大きさの物やおもちゃはのどに詰まる危険がある。
- () 14. 「はらべこあおむし」「三匹のやぎのがらがらどん」などが0歳からの絵本として、適切である。
- () 15. おんぶをするときは、手足がしっかり出ているか、脇がしっかり支えてあるか、体にフィットしているか確認する必要がある。
- () 16. 噛みつきが起ってしまったら、すばやく流水で噛まれた患部を洗い、冷やすことであるが、このとき“冷ピタ”が有効である。
- () 17. おおむね2歳の絵本の読み聞かせは、“はじまるよ”の手遊びをしてから「ごあいさつあそび」「いないいないばああそび」などが適している。
- () 18. あかちゃんがおもちゃなどを目で追うことを対象の永続性という。
- () 19. 鼻をかむときは、しっかりかめるよう、両側から同時に鼻を出すよう教えていく。
- () 20. 身に付ける清潔は、自然と身につくものではないので、発達に合わせて繰り返し伝えていくことが大切である。
- () 21. 6ヶ月未満児のわらべうた遊びでは、「いちりにり」「ぼうず ぼうず」などが適している。
- () 22. 着脱の援助は、子どもの視界に入らない後側や横側で行い、自分でできたという気持ちにさせる。
- () 23. 女の子は排便のとき、後ろから前に拭くよう、教えるようにする。
- () 24. 排便の後は、3歳未満児でもまだ難しいので、仕上げに拭いてあげるほうがよい。
- () 25. 大人と一緒に食事をしたり、スプーンを持たせることで、自分で食べようとする意欲がもてる。
- () 26. 赤ちゃんは、動くものや音のでるものに興味をもつ。
- () 27. ズボンは、履くより脱ぐ方が簡単である。
- () 28. ミルクを飲ませるとき、ミルクが漏れていなければ、空気が入っても大丈夫。
- () 29. 上着を着るときは、先に袖を通してから着る方が、簡単である。
- () 30. ボタンは大きくて丸みがあり、ボタンホールも大きい方が留めやすい。
- () 31. 2歳になると所有の意識がはっきりしてきて、物分りがよくなるので、物のとり合いが少なくなる。
- () 32. 2歳では、まだルールが理解できないので、3歳くらいから教えていくほうが望ましい。
- () 33. 首の座っていない赤ちゃんは、両手で頭を包むように支え、もう片方の手を背中からお尻へと滑らせ、肘の内側に頭をいれて首と背中を支える。
- () 34. 読み聞かせ前の手遊びは、“はじまるよ”を歌ったり、絵本に関連する手遊びをするとより興味が持てる。
- () 35. 「おおきなかぶ」や「まっくらネリノ」は2歳から読み聞かせる絵本に適している。
- () 36. 「きんぎょにげた」「わにわにの絵本」は、2歳からの絵本として、適切である。
- () 37. 食事の援助では、手づかみ食べは汚いので、なるべくスプーンを使うようにしていく。
- () 38. 6ヶ月からの絵本の読み聞かせは、ひざの上で抱っこして、ゆっくり、はっきり表情ゆたかに読むとよい。
- () 39. 手洗いのとき、腕をまくったり、洗ったり、流したりする動作は繰り返しの言葉で楽しく覚えることが望ましい。
- () 40. 食事のときは、足が床や台の足置きに、しっかり付いていることが大切である。